

不審者侵入時の対応

軽井沢中学校

1 不審者侵入を発見

- (1) 声をかける。どういう理由で来たのかを確認する。
刃物を持っていたり、精神的に病んでいたりすることも考えられるので、不審者との距離を保つ。
- (2) 近くの職員は不審者から生徒を遠ざける。
可能ならばそのまま避難場所(体育館・テニスコート)へ向かわせる。場合によっては教室にそのまま待機させたり、教室出入口を机や椅子などを使って封鎖させたりすることもあり得る。
- (3) 不審者侵入の旨を職員室へ連絡。
 - ① 不審者が比較的落ち着いている場合は、インターフォンや伝令等で連絡する。
※ 不審者を刺激しないように、目につかない経路をたどる。
 - ② 不審者が興奮しているような場合は、非常ベルで知らせる。
 - ③ 状況によっては大声で応援を頼み、不審者をそれ以上近づけないようにする。
※ 生徒の安全のみではなく、職員自らの安全も確保する。

2 避難・関係機関への連絡

- (1) 全校への指示(教頭)
 - ① 職員室にいる職員が分担して全学級生徒へ連絡。直ちに避難させる。
 - ② 場合によっては(非常ベルを使用した時は)、緊急放送を流す。
- (2) 関係機関への連絡(教頭)
※ 110番通報及び119番通報。
- (3) 避難開始
 - ① 指示に従って、口を閉じ、避難場所(体育館・テニスコート)へ急ぐ。
※ できるだけ侵入者の目につかない経路を選んで避難する。
 - ② それぞれで避難場所へ向かい、避難場所に入ったら学級ごとに整列する。
※ ステージに向かって地震や火災時の避難隊形と同じとする。
※ 出入口付近に職員を2～3名ずつ配置する。
- (4) 避難完了
 - ① 生徒への連絡を分担した職員は生徒が完全に避難できたか確認する。
※ 列の間に入り、数えていく。カウントの済んだ生徒から順次座らせていく。

(生徒) 分担職員 → (学年主任) → 教頭 → 学校長

② 報告のしかた

「〇年〇組、〇〇名中、欠席〇〇名、現在数〇〇名」
「完全に避難しました。」

3 侵入者への対応

- (1) 現場にいる職員(必ず複数で対応する)
 - ① 侵入者を取り囲むようにする。
※ 机や椅子などを使って侵入者の行動可能な範囲を狭めるようにする。
 - ② 武器になるようなものを確保する。
※ 箒やバケツなど手に持てる物、黒板拭きや鉛筆削りなど投げられる物など。
 - ③ 生徒・職員の安全を確保しつつ、警察の到着を待つ。
※ 無理は禁物だが、状況によっては侵入者の身柄を確保する(さすまた)。